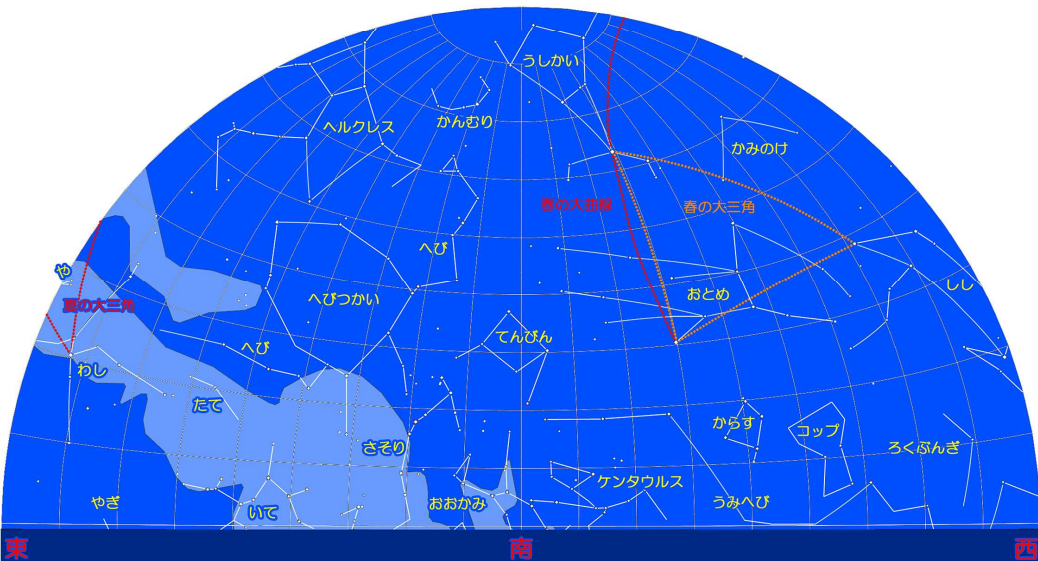


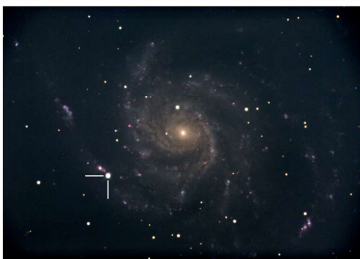


6月の星空(15日 21:00頃)



AstroArts StellaNavigator

M101に現れた超新星



おおぐま座に位置するM101に、明るい超新星が現れました。5/20(日本時間)に山形県の板垣公一さんにより発見された超新星SN 2023ixfです。この超新星は、大質量の恒星が重力崩壊により超新星爆発を起こしたもので、比較的近い距離に現れたことから、りくり望遠鏡で見えるほどに明るくなっています。超新星を見る事の出来る、貴重なチャンスです。皆さんぜひご覧ください。

距離：約2270万光年

イベント・天文現象

6月

- 1(木)~4(日) 火星とプレセペ星団が接近
- 4(日) 金星が東方最大離角
- 12(月)~14(水) 金星とプレセペ星団が接近
- 21(水) 夏至

7月

- 1(土) 水星が外合
- 7(金) 金星が最大光度
- 8(土) 第12回陸別スターライトフェスティバル
- 12(水)~23(日) 天の川と夏の天体観望会
- 25(火) 月面X

月

	出	没
4日 ● 満月	19:29	03:18
11日 ● 下弦	--:--	11:31
18日 ● 新月	03:06	19:40
26日 ● 上弦	11:11	23:36

天文台から月を見ることができるのは1~4日頃と21~30日頃、望遠鏡での見頃は上弦前後です。

距離：約38万km

M57(惑星状星雲)

こと座に位置する惑星状星雲です。リング状星雲、ドーナツ星雲などと呼ばれるように環の形に見える星雲です。これは、恒星が一生涯を終えようとするときに放出したガスが光っているものです。

距離：約2600光年

NGC6543(惑星状星雲)

りゅう座に位置する惑星状星雲で1786年2月15日にウィリアム・ハーシェルによって発見されました。その姿からキャッツアイ星雲と呼ばれています。

非常に複雑な構造をしている星雲で、りくり望遠鏡でその構造の一部を見ることができます。

距離：約3600光年

M13(球状星団)

ヘルクレス座に位置する球状星団で、北天で最も明るい球状星団です。位置さえ知っていれば双眼鏡でも簡単に見つけることができます。

望遠鏡では、中心部まで星が密集した、見事な姿を観察することができます。

距離：約2万5100光年

M51(銀河)

銀河の渦巻の腕の先に小さな銀河(NGC 5195)を伴っていることから、子持ち銀河という愛称で呼ばれています。

月明りのない夜には、2つの銀河が実際につながっている様子を見ることができます。

距離：約2800万光年

その他おすすめ

- M3(球状星団)
- M5(球状星団)
- M82(銀河)
- コル・カロリ(重星)
- ラスアルゲティ(重星)
- イザル(重星)

開館情報

6月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

7月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23 30	24 31	25	26	27	28	29

開館時間

- 14:00~22:30 (4月~9月)
- 13:00~21:30 (10月~3月)

休館日